

# 製品取扱説明書

【用途】 ガラス、金属、ステンレス

1. 一般名 高機能性超撥水剤
2. 規格 社内規格
3. 特徴

ヘリテージをガラス、金属用の表面保護用に開発。フッ素シリコーンが強固に表面を保護します。超撥水作用により水の付着によるスケールや汚れを防止する。空気中の湿気や炭酸ガスと加水分解し疎水基を形成致す。メディアコート・クラシックをガラスや金属に塗布後、散水すると急激に撥水。定期的にこの作用を繰り返しますと、成分中のフッ素シリコーンが堆積始め、超撥水作用を継続する。一般住宅の窓ガラスは勿論のこと、特に対象物を限定しませんがビルの窓、F i x窓には最適。ホテルや店舗のディスプレイ・ウィンドウ、自動ドアのガラス戸、マンションなどエントランス周りのステンレスにも最適です。この他、浴室内の壁や天井、タイルや目地にカビが付着していたら、よく洗浄してクラシックを塗布すると、長期間カビなどの汚れを防止します。また浴室内の鏡の汚れを除去後、クラシックを塗布して、温水シャワーで散水すると洗面時に水滴が付きにくくなる。成分中のイソプロピルアルコールの消毒作用による洗浄効果と防カビ効果も期待できる。



## HYDROPROOF® Media Coat Classic

メディアコート・クラシック

4. 一般性状	
項目	内容
主成分	アルキルシリケート化合物+イソプロピルアルコール
容姿	1液性
荷姿	18ℓ・4ℓ入り
色相	無色透明又は淡黄透明色
光沢	乾燥後、下地の質感は全く変化させない
密度	0.75~0.95g/ml (20℃)
粘度	10mPa・s 以下
P H	データなし
沸点	50~82℃
融点	-88.5℃
引火点	11.7℃ (密閉式) 21.0℃ (開放式)
発火点	480℃
臭気	特異臭 (消毒液臭)
溶解度	加水分解性有り
溶解性	水、アルコール、エーテル、アセトンその他殆どの有機溶剤と混和

## 6. 施工上の注意

1. 必ず良く振ってから使用する。
  2. 塗布方法は特に選びません。
  3. 直接、シーリングにかからないようにして下さい。シーリングに塗布したまま放置した場合、素材によっては溶かすこともあります。試験施工するか、養生または拭き取って下さい。
  4. 開封後は速やかに使い切ってください。開封後の残剤は容器中の空気と化学的に反応を起こすので使い切ってください。特に使用残分を元の容器に戻さないで下さい。
  5. 短期的保存の場合は水分・ゴミ等が混入しない様にフタを密封し室内の冷暗所で保管して下さい。また、子供の手の届かない所に保管して下さい。
  6. 万一、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談するようお願い致します。
  7. シリコン系のシーリング剤に付着したままだと、溶かす恐れがあるので、塗布後拭き取る。
- ※ シリコン汚れやワックス等の除去にRESPO T10 (レスポット10)があります。

5. 塗装基準	
項目	内容
洗浄	新設、補修工事とも塗布面の洗浄を行う。 特にガラスのスケール落としは仕上げに影響する。
養生	基本的な養生として、植栽等に付着しない様に。
塗布	一般的な塗布量は 0.05~0.15ℓ/m <sup>2</sup> を目安に塗布する。 塗布後、10~20分程度で湿った布で拭き取り後、乾いた布で拭き上げる。場合によりメディアコート塗布後、水洗いし水分除去後、乾いた布で拭き取る。
乾燥	日常的に水洗いすることで撥水効果は持続する。

7. 関連法則	
危険物表示	危険物第4類 アルコール類 (水溶性) 危険等級2
溶剤区分	第二種有機溶剤
有害物質表示	施行令別表第1の2 有害でない物質
劇物質表示	非該当

## 8. 使用上の注意 [警告]

密閉された部屋内部では換気を十分に取る。

## 9. F☆☆☆☆について

「フォースター」の表示は、塗料や内装材、建材で、「ホルムアルデヒドの放散量の性能区分を示す為に新たに表示する義務が定められたものです。F☆☆☆☆ (Fフォースター) は、JIS工場で生産されるJIS製品に表示することが義務づけられているホルムアルデヒド等級を示すマークです。ハイドロブルーフは塗料ではなく、水性無機化合物の劣化保護及び防水剤です。有害化学物質に指定されたシロアリ駆除剤のクロルピリホス及び、シックハウス症候群に関するホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・ステレンの1+5種類を有害規制薬物に指定。従って有機化合物であるフォールムアルデヒドは含まれていないため F☆☆☆☆に該当しません。

## 10. VOCについて

VOCとは、Volatile Organic Compounds の略で揮発性有機化合物のことをいいます。WHOでは大気中に気体で存在する有機化合物のうち、沸点が50℃~260℃の物質の総称と定義されています。上記有機溶剤に関しては非該当です。